

ヴェリタス学習会通信 115

予定表カレンダー →



令和8年10月の予定

- ・月曜日 10月5・12・19・26日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・火曜日 10月6・13・20・27日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
- ・水曜日 10月7・14・21・28日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 10月1・8・15・22・29日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上650-1です。

丹生川上集会所（旧丹生川上児童館・教育集会所）内です。

警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方にはLINEなどでお知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。



連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189（+メッセージも可能）

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay（4文字目は数字のゼロです）

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければMessengerが使えます。

メールやLINE登録をしていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数料削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか



利用が広がっているZoomクラウドミーティングやSkype, Facetime, Google Meetなどを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

（画像は生成したもので、実在の人物ではありません）

以前につくった英語の名詞と名詞系語句についての中学生用のファイルを上げました。右のQRコードか下記のURLからご覧になれます。

<https://www3.cty-net.ne.jp/~veritas/info25/noun01.pdf>



十干十二支（じっかんじゅうにし）

「あなたの生まれ年の干支は何ですか？」と尋ねられたら、今年2026（令和8）年生まれの人ならば、午年と答えることでしょう。今は答えられないでしょうけれど、知識がついたらね。でもこれは、厳密にいうと十干十二支の十二支の部分の部分を答えているだけなのです。十干を加えると、丙午の年の生まれになります。

十二支は、子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥、十干は、甲乙丙丁戊己庚辛壬癸で、全部組み合わせると $12 \times 10 = 120$ 通りできそうですが、使われない組み合わせがあって、半分の60通りを使っています。60年で1サイクルとなるため、61年目には1年目と同じ干支が来ます。満60歳になる年齢が還暦と呼ばれるのは、このためです。

十干は、「じゅっかん」と読んでも間違いではないのですが、伝統的に「じっかん」と読んでいます。辞書にもそう書かれています。「モーゼの十戒」や「十指に余る」「岡っ引きの十手」などの「十」も「じっ」と辞書に出ています。「じゅっ」でも間違いではありません。

十干については、まだ書けることはあるのですが、今回は、方角を表すのに十二支を使っていたという話をします。

干支が日本に伝わる

干支と方角の関係

十二支（干支）は、方角とも深い関係があり、それぞれの方角に特定の干支があてられています。



- ・干支は、もともと「十干（じっかん）」と「十二支（じゅうにし）」を組み合わせたものです。
- ・十二支には、それぞれに方角や時間、季節などが対応しており、古くから暦や風水、占いなどのさまざまな場面で用いられてきました。

方角と干支の対応	
北	子（ねずみ）
東	卯（うさぎ）
南	午（うま）
西	酉（とり）

北東	丑（うし）	寅（とら）
東南	辰（たつ）	巳（へび）
南西	未（ひつじ）	申（さる）
北西	戌（いぬ）	亥（いのしし）

十二支はもともと、12か月を表すのに使われていたようですが、中国で年や時刻・方角を表すためにも使われるようになりました。

それが5世紀には、朝鮮半島の百済から日本に伝わって、日本でも利用するようになりました。

十二支と方角の対応

十二支と方角の対応は左の図の通りです。

高校の国語の古典分野の基礎知識として、十二支と方角や時刻の対応は知っておくといいいのですが、私は十二支の後半部分の順序の識別があいまいなまま過ごしてしまいました。

図では「ねずみ」「うさぎ」「へび」「いのしし」と書いていますが、通常、順に「ね」「う」「み」「い」と書いていますが、

と読みます。「ね」「う」「い」は、それぞれ最初の音ですが、「み」は「へび」と関係ない音ですので、気を付けてください。

北東などは、日本で独自に考えられた方角名

北東は丑と寅の境界線の方向です。中国では八卦を利用した方法でその方角を表していましたが、日本では、丑と寅の間だから「艮」と呼ぶことにしよう決めました。図では「東南」とありますが「南東」と考えてください。そして「たつへび」ではなく「巽」と覚えてください。「南西」は「坤」。「北西」は乾です。「いぬいのしし」ではありません。

わが庵は 都の たつみ しかぞすむ 世をうぢ山と 人はいふなり 喜撰法師（小倉百人一首・古今和歌集）